

県建設業協会（下本八一郎

出前講座を開催 県立日野高校で 県建設業協会と 施工管理技士会

会長）と県土木施工管理技士会（井中伸二会長）は、若年者入職・人材育成事業として毎年実施している高校生への出前講座を14日午後2時20分から日野町根雨、県立日野高等学校で開いた。

出前講座には二年生約50名が参加、県建設業協会会員で同校前身でもある根雨高等学校卒業生の大柄司氏（大柄組社長、日南町矢戸）が建設業の魅力や特徴、仕事内容について「建設業に携わって思ふこと」という議題で講演した。建設業をPRするイラストや現場写



出前講座のようす（14日、日野高等学校）

真を使い、土木・建築業の業種や災害防除など生徒たちに分かりやすく業界の仕事内容を紹介した。大柄氏は「創造する魅力がある、建設した物が後世に残る」と建設業の魅力について語ったほか、「現場は女性にも活躍できる環境づくりが作られている。女子生徒の皆さんも建設業に対する興味をもってもらえたら」と期待を込めた。

この出前講座は建設業の魅力を高校生に発信し、若年者の雇用促進・人材育成の拡大

を目的としており、建設業界のイメージアップを図っている。